



Analyze & Census

総務省**労働力調査(基本集計)(速報)
建設業の就業者500万人台を回復**

総務省統計局が2月1日公表した労働力調査(基本集計)平成30年(2018年)平均(速報)によると、建設業就業者数は503万人と2015年の502万人以来3年ぶりに500万人台を回復しました。男女別では、男性が対前年比1万人減の421万人となった一方、女性は6万人増の82万人となっています。国全体の労働力人口は、2018年平均で対前年比110万人増の6,830万人(6年連続の増加)。男女別では、男性は33万人増の3,817万人、女性は77万人増の3,014万人となりました。

(<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/ft/index.html>)



Work Life Balance

経済産業省**「健康経営優良法人2019」、
中小建設業478社が認定**

経済産業省は2月21日、「健康経営優良法人2019」の認定法人として、大企業821社(建設業22社)、中小企業2,503社(建設業478社)を認定しました。健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。認定事業者に対し、公共調達加点評価や地銀、信金等による低利融資などのインセンティブを付与する自治体や金融機関等が増えています。

(http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukei_yuruyouhouzin.html)



Work Life Balance

国土交通省・総務省**自治体に「速やかな繰越手続の実施」を
連名で要請**

国土交通省と総務省は2月8日、都道府県と政令指定都市に「速やかな繰越手続の実施」を要請する通知を連名で送付しました。通知では、自然災害の発生や資材の入手困難等やむを得ない事案が発生し、年度内のみでは適正な工期を確保できないと見込まれる場合には、財政法や地方自治法に基づき適切に繰越制度を活用することを要請。制度の徹底した運用により、年度をまたぐ柔軟かつ適正な工期の設定を促しています。

(<http://www.mlit.go.jp/common/001273151.pdf>)



Analyze & Census

中小企業庁**長時間労働に関する調査を実施
建設業の繁忙期の発生割合は業種別で最多**

中小企業庁は2月1日、昨年12月3～13日に中小企業7,624社に対して実施した「長時間労働に繋がる商慣習に関するWeb調査」の結果概要を発表しました。繁忙期の発生割合は建設業が業種別で最多の93%、短納期受注の発生割合は71%でした。短納期の要因として、建設企業から「取引先の大企業は時短対応のため、丸投げが増えた。建設業は、工期遅れを下請が取り戻す構造。元請は休むが下請は責任施工といわれることが増えた」との回答が寄せられています。

(<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/2019/190201jinzai01.pdf>)



Analyze & Census

帝国データバンク**全国社長年齢分析(2019年)
建設業の年齢構成は60代が最多**

帝国データバンクが1月29日に公表した全国社長年齢分析(2019年)によると、社長の平均年齢は全体で59.7歳(前年比+0.2歳)と過去最高を更新しました。建設業の社長平均年齢は59.0歳、年齢構成は60代が29.6%、50代が26.1%、40代が20.8%となっています。社長生年の元号別で見ると、昭和生まれの社長では、「土木工事」「木造建築工事」「内装工事」などの建設業が上位を占めています。

(<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p190110.html>)

**建設業振興基金****建設キャリアアップシステム
「限定運用」の現場で着実に検証が進展**

建設業振興基金は、2019年4月から始まる本運用に先立ち、現場を限って検証やサポート体制構築を行う限定運用を実施しています。工種、規模等の面で多様な24現場で順次実施され、屋内外でのPCとカードリーダーの設置方法、技能者に便利な場所選択や注意喚起、iPadやiPhoneとカードリーダーを工事現場に持参する際の留意点、盗難防止の工夫など幅広い「気付き」が得られています。技能者の方々は、自身の就業履歴の蓄積状況を確認してステップアップへの意欲を高めているようです。

(<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ccus/>)